

EFI eXpress 4.1 W8000 Edition 白インクの使用法

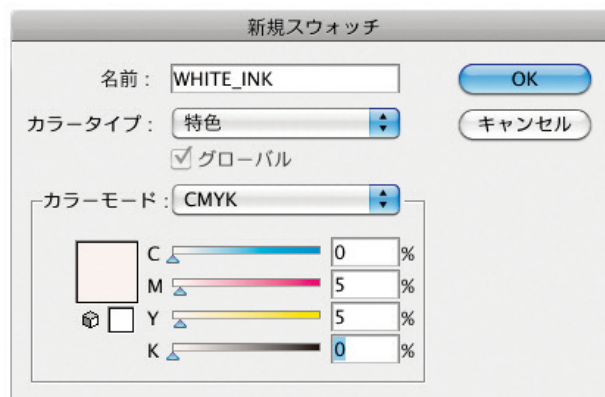
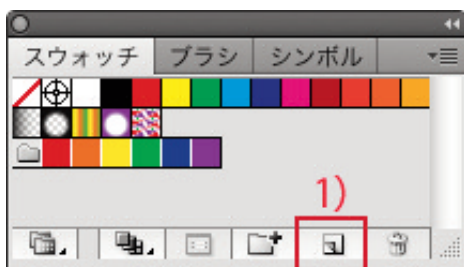
本資料は、Adobe Illustratorを使用して白を含むデータの基本的な作成／確認方法からEFI eXpressを使用し印刷を行うまでの手順を説明した資料です。

■白のスポットカラー作成方法について (Illustrator側での設定)

- ・データ上で、ホワイトインクのスポットカラーが作成／指定されているかを確認します。
- ・作成されていないデータは、スポットカラーの新規作成を行います。
- ・既に作成済みの場合はスポットカラー名称を確認します。

1. スウォッチオプションにて白インクの「スポットカラー」を新規作成します。(「ウィンドウ」メニュー> スウォッチ)

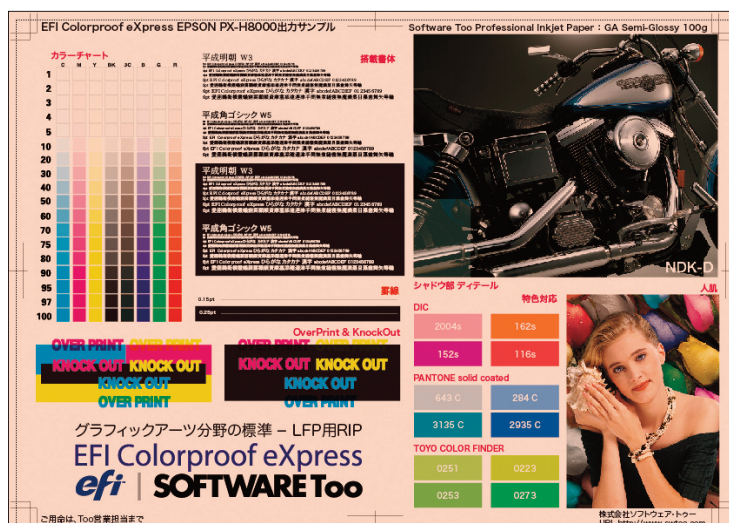
- 1) 新規スウォッチボタンを押す。
- 2) 名前に「WHITE_INK」と入力する。
- 3) カラータイプを「特色」にする。
- 4) カラーモードは「CMYK」にし、M、Yをそれぞれ5%の設定にして視認性をあげておく。
- 5) OKボタンを押す。



2. ホワイトオブジェクトを作成する。

- 1) ホワイトオブジェクトは「パスのアウトライン化」をしておきます。(オブジェクトメニュー> パス> パスのアウトライン)
- 2) ホワイトにしたいオブジェクトを選択し、オブジェクトメニューからアレンジの「最前面へ」を選択する。
- 3) カラーで作成済みのホワイトを塗り、線(必要に応じて)に設定する。
- 4) 属性パレットで「塗りにオーバープリント」と「線にオーバープリント(必要に応じて)」のチェックを入れる。
※線に対して白インクの設定をした場合に「線のオーバープリント」にチェックを入れます。

3. 表示メニューからオーバープリントプレビューを選択し、最終出力を確認する。

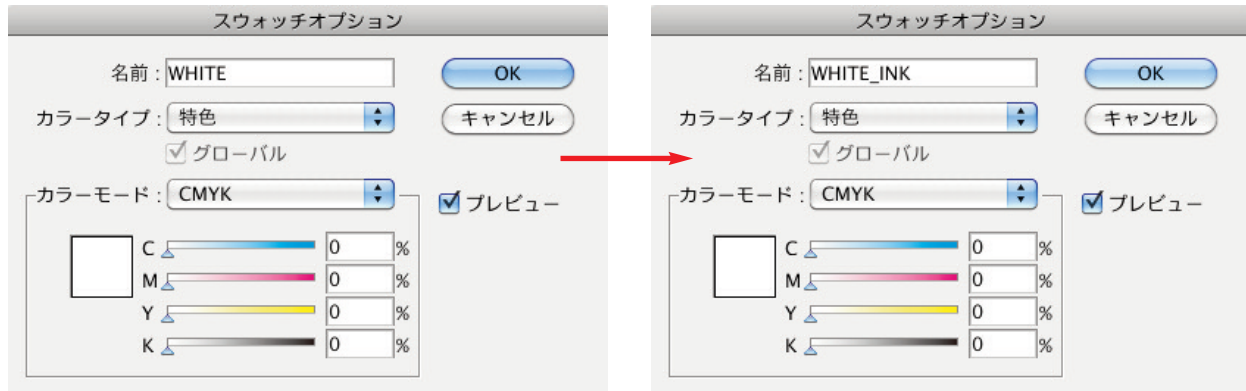


<既にホワイトデータに設定されたスポットカラーが存在する場合>

スウォッチ上に白データと紐づいたカラーが作成済みの場合、以下いずれかの設定で対応します。

- スポットカラーの名称を変更する。

(例)「WHITE」→「WHITE_INK」



- RIP側で「WHITE_INK」を指定する。

P.7をご参照ください。

■重ね打ち出力設定の確認

白インク上にカラーデータを重ねて出力する為の設定が正しく行われているか確認します。

PX-W8000では、白とカラーのデータを重ねて印刷するデザインが多くなる事が予測されるため、ここでは白インクの上にカラーを重ねて印刷する設定方法をご説明します。

(例)データのバイ部分でご説明します。



<ご注意>

重ね打ちの設定は、各アプリケーション/データの作成方法により異なります。

Illustratorでは、「乗算」もしくは「塗りにオーバープリント」などの設定で重ね打ちの設定を行います。

本データは「乗算」機能を使用して説明します。

1. 「WHITE_INK」指定した白データ上にカラーを重ねます。

※今回はわかりやすくする為、少しずらして配置しています。(本来は真上に置くことが多いです。)乗算のプレビューが見やすいようにバックの背景色を変更しています。



2. カラー画像データを選択し、「ウィンドウ」メニューの「透明」より「乗算」を選択します。



<乗算処理後>



カラー画像が重なっている箇所も白が印刷されます。

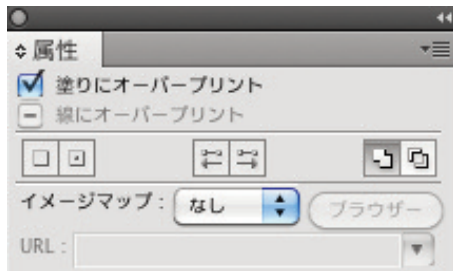
<乗算処理前>



白データ表示箇所のみ白が印刷され、カラー画像の下にある白データ部の白インクは印刷されません。

3. 上記と同様に他の箇所にも白インクの設定を行います。

4. 「塗りにオーバープリント」で設定を行う場合は、「属性」パレットから「塗りにオーバープリント」にチェックを入れます。



<ご注意>

- オーバープリント及び乗算の機能は異なる設定となり、どちらを使用する必要があるのかは作成データ(重ね合わせる色)や使用アプリケーション、使用RIPによっても出力結果が異なります。
- 透明効果の「乗算」と「塗りにオーバープリント」は、白データ印刷においては出力結果は同じですが、同じ機能ではありませんのでご注意ください。扱うデータによっては異なる出力結果となります。下記リンクページに詳細の説明がありますので、ご確認をお願いします。

<参考ページ>

- Illustratorのオーバープリントと透明効果の乗算の違い

<http://blog.ddc.co.jp/mt/dtp/archives/20080318/185000.html>

- Adobe社 透明の手引き (CS3)

http://www.images.adobe.com/www.adobe.com/jp/print/pdfs/CS3_toumei_Screen.pdf

※画面表示用(PDF:13.1MB)

http://www.images.adobe.com/www.adobe.com/jp/print/pdfs/CS3_toumei_Print.pdf

※印刷用(PDF:19.6MB)

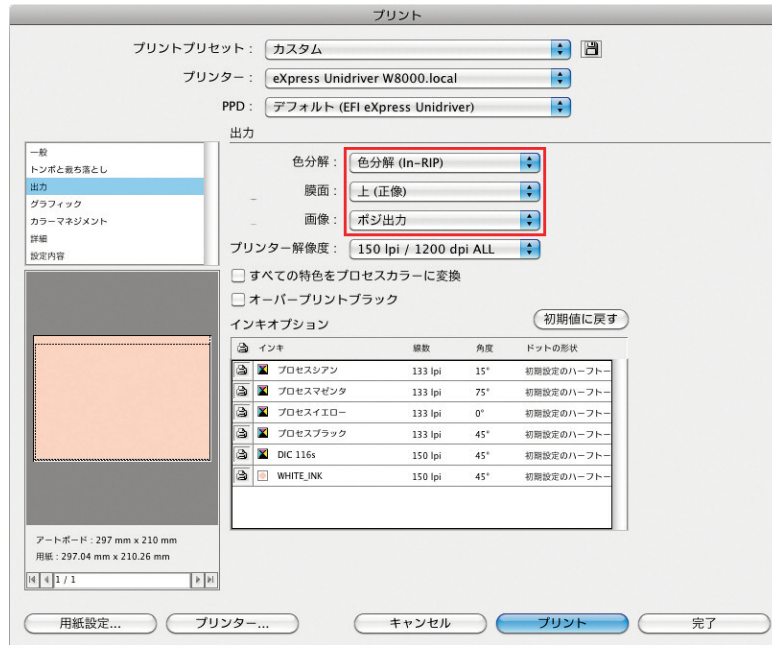
- 大日本スクリーン製造社 True flow 出力の手引き (P10~)

http://www.screen.co.jp/ga_dtp/product/trueflow_guideline/TFJ_OutputGuideline14_whatsnew.pdf

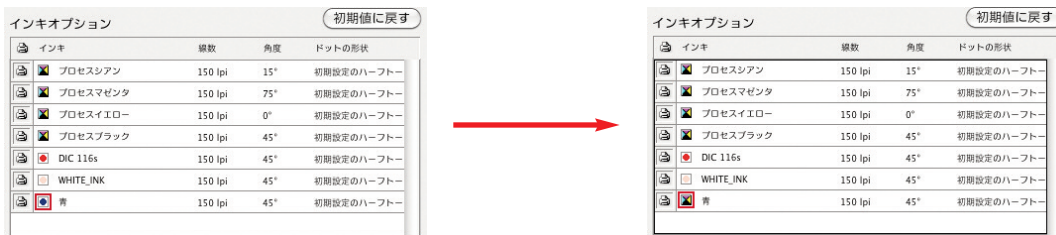
■Illustratorからの出力手順

1. プリントダイアログの設定

1)「出力」タブを選択し、色分解:「色分解(In-RIP)」、膜面:「上(正像)」、画像:「ボジ出力」を選択する。

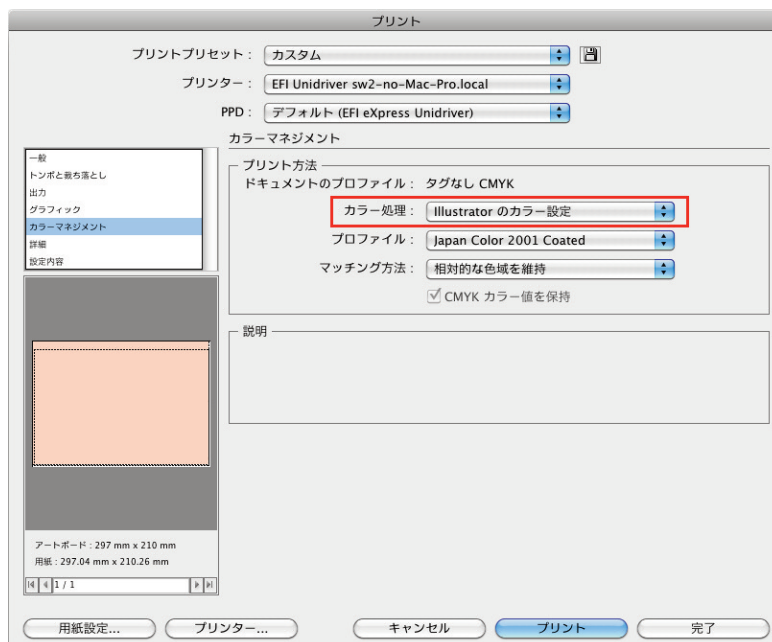


2) WHITE_INK以外の特色がある場合は、インキボタンをクリックして特色からプロセスカラーに変更する。
※PANTONE、TOYO、DIC以外の独自に作成された特色版はプロセスカラーに変更する必要があります。



3) インキオプションのすべてのインキが選択されていることを確認する。

4)「カラーマネジメント」タブを選択し、カラー処理:「Illustratorのカラー設定」を選択する。



※上記で指定したプロファイルは、EFIでは適用されない仕様ですので、何を選んでも問題ありません。

2. 「プリント」ボタンを押しEFI eXpressへデータを転送します。以上でIllustrator側での設定は完了です。

■EFI eXpressでの白インク設定方法

EFI eXpressでのスポットカラー定義の確認

ここでは、白印刷を行う上で特に注意していただきたい点をご説明します。

1. In-RIPセパレーションが「有効」もしくは「強制」になっている事を確認します。
2. スポットカラーの定義上に「WHITE_INK」が表示されている事を確認します。

In-RIPセパレーション機能について

有効:使用可能なIn-RIP情報をジョブに適用します。In-RIP情報が検出されない場合は、コンポジットとして出力されます。

※PSファイル情報には、色分解の詳細情報(プロセスカラーとスポットカラー)だけでなく開始コード情報も含まれている必要があります。

強制:PSファイルに開始コードが含まれない場合は、コンポジット出力されます。「強制」を選択すると、ファイルはすべて分版ファイルとして出力されます。

白指定の確認項目は以上です。

白インクに関する機能の説明

白インクの設定は「環境設定」の「プリンタ」のオプションタブにあります。4つの印刷モードが利用可能です。アプリケーションや用途により使い分けてください。印刷後にメディアを傷つけないために、インクの乾燥時間は「30分」、「自動カット・オフ」の設定にしてください。

1. スポットカラー WHITE_INK

WHITE_INKという名前のスポットカラーチャンネルが白インクでプリントされます。

・ スポットカラー WHITE_INK
印刷イメージ
Bounding Box
オフ

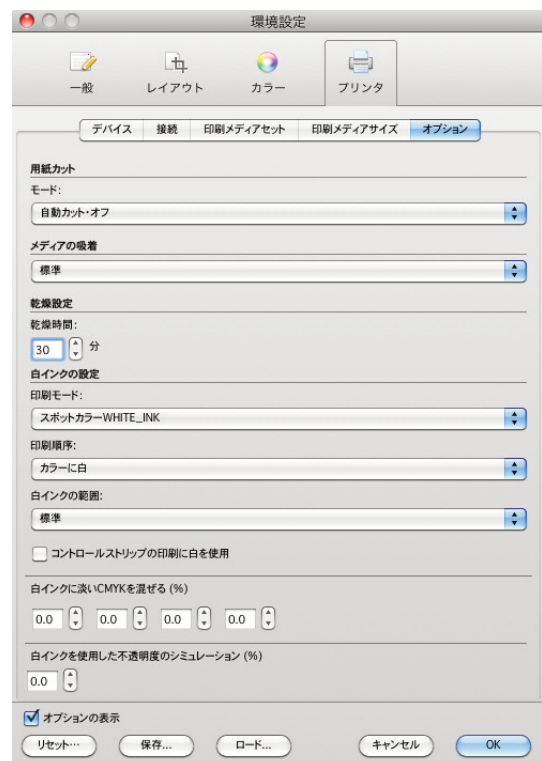
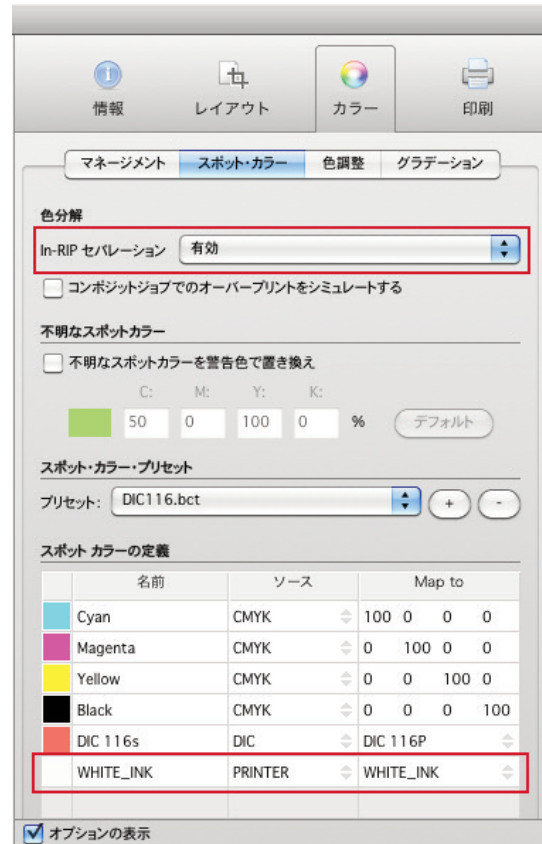
2. 印刷イメージ

インクで印刷される部分(スポットカラーの部分も含まれます)のバックグラウンドに白のレイヤーを印刷します。

3. Bounding Box

全てのフレームのバックグラウンドに白のレイヤーをプリントします。

注意:白インクは完全に不透明ではありません。バックグラウンドを通して測定しているカラーパッチが微かに光の影響を受けます。(白の濃度はD=0.3近辺です。このことは50%の光しか拡散、反射して人の目に入ってこないことを意味します。)これは、media wedgeを測色する際も重要です。測色するターゲットの後ろのメディアからの影響が測色結果に反映されます。



4. オフ

白インクは使用しません。この設定は透過媒体としてのフィルムメディアにプリントする際に有用です。

注意: スポットカラーとして白インクでプリントするためには、スポットカラーの名前を”WHITE_INK”とする必要があります。もし、異なる名前になっているときには「スポットカラー」タブで直接変更することが可能です。最初にスポットカラータブの「ソース」でPRINTERを選択し、「Map to」でWHITE_INKにマッピングしてください。



印刷順序

印刷の順序は2種類から選択できます。最初に白を印刷してその上にカラーを印刷する場合「白にカラー」を選択します。この場合、白はペーパーホワイトのように見えます。

クリアフィルムメディアにプリントする際は「カラーに白」を選択することを推奨します。クリアフィルムは裏から見ることを想定しています。カラーは保護され、カラフルでコントラストも高くなります。



注意: プリントデータは自動的に反転されます。

白インクの範囲 (White ink coverage)

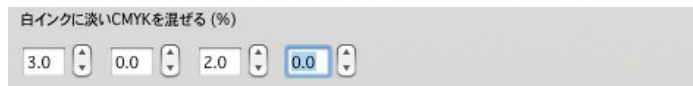
デフォルトでは「白インクの範囲」は「標準」に設定されています。「標準」は現在利用可能なEpsonのフィルムメディアに最適化されています。(濃度計の測定でD=0.3)異なる設定を使用することは可能ですが、標準より濃い設定をする時はインクの増加量に注意してください。



白インクに淡いCMYKを混ぜる White tinting option

この機能は特殊な白インクの色をシミュレーションします。

上の例は白に3%のシアン、2%のイエローを付けます。混ぜ合わせる各色の最大は20%です。



白インクを使用した不透明度のシミュレーション

Epsonのフィルムメディアは透明です。この機能を使用して不透明メディアのシミュレーションが可能です。最大20%まで設定できます。

乾燥時間

注意: W8000でフィルムメディアに出力する場合、十分な乾燥時間を要します。Epson Special Film用Basketを使用するのであれば、「用紙自動カット・オン」にしても構いませんが、使用しないのであれば「自動カット・オフ」にしてください。そうしないと、メディアが床に落ちた時に傷ついてしまいます。プリントアウトは手動でカットして完全に乾くまでテーブルの上などに置いておいてください。フィルムに印刷すると視覚的に素晴らしいものになります。乾燥していないときは透明ですが、完全に乾燥すると白に変わります。乾燥した後もメディアは傷つきやすい為、気をつけてください。